広報

きたかた

2014.12月号

No.108



今月のおもな内容

市功労者を表彰……②
子ども議会が開かれました……④
市の財政状況をお知らせします……⑩
写真で見る地域の話題……⑯
住宅用地を販売します……㉖
除雪作業にご協力を……㉙

市功労者を表彰

自治功労など　個人・団体が受賞

市の発展に寄与した功労者に贈られる市表彰の今年度の受賞者が決まり、表彰式が11月5日、喜多方プラザで行われました。受賞者は自治功労のほか教育文化功労など5部門、16の個人・団体で、式典には関係者など約90人が出席しました。唐橋幸市郎表彰選考委員会会長が選考結果を報告、市長から受賞者一人ひとりに賞状と記念品が手渡されました。このあと受賞者を代表し小椋君雄さんが謝辞を述べました。



自治功労

◆多年にわたり行政区長として市政発展に貢献



小椋　君雄さん（山都町川入）



中森　昭明さん（新道）

教育文化功労

◆多年にわたりスポーツ推進員としてスポーツ振興に貢献



二瓶　利博さん（西四ツ谷）

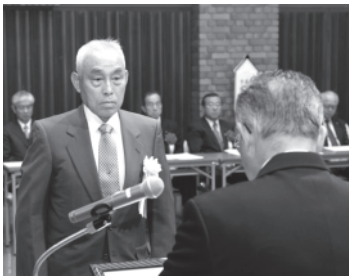
◆多年にわたり文化団体役員として文化振興に貢献



小林　八郎さん（塗物町）



佐藤　久雄さん（関柴町下柴）



社会福祉・保健衛生功労

◆多年にわたり民生・児童委員としての住民福祉の増進に貢献



眞壁　純一さん（西四ツ谷）

◆多年にわたり道路などの維持管理に尽力しその保全に貢献



渡部　文雄さん（塗物町）



鈴木　藤綱さん（塩川町沖）

◆多年にわたり保護司として改善更生に尽力し、地域社会の安全および住民福祉の向上に貢献



武田　和子さん（山都町広野）

消防・防災・交通安全功労

◆多年にわたり消防活動に精励し、市民の生命および財産の保護に貢献



宇津味　守温さん（新仲町）



小澤　太さん（山都町木曽）



関口　浩二さん（山都町宮古）

善行

◆本市にふるさとづくり基金として多額の金員を寄付



高麗　正規さん（東京都）

◆本市にふるさとづくり基金として多額の金員を寄付

渡邊　衛さん（東京都）

◆本市にスポーツ振興のため多額の金員を寄付



小野瀬　正さん（幸町）

◆本市に美術品購入のため多額の金員を寄付

会津クリーン株式会社

市表彰は、市政の進展、文化および経済の興隆、公共の福祉の増進に貢献し、その功績が市民の模範となった方々を表彰するもので、市の健全な発達に資することを目的としています。

問 総務課 行政班 ☎(24)5204

秋の叙勲受章者
瑞宝単光章



小檜山 利伊さん
（岩月町下台）

小檜山さんは、昭和36年に喜多方市消防団に入団し、平成14年に分団長で退団するまで41年間に亘り地域の防火・防災に尽力されました。

特に災害に負けない組織づくりを目指し、後進の育成に力を注ぎました。

平成26年度
喜多方市技能功労者表彰



婦人・子供服仕立職
高橋 節子　さん

40年以上にわたり洋裁業に従事し、主に婦人服を手掛け、そのデザインや着やすさは市内外の顧客から好評を得ており、喜多方洋装デザイナー協会の活動にも熱心に取り組むなど業界の発展に寄与されました。



塗装工
石川 伸也　さん

40年にわたり塗装工として活躍し、塗装一筋で磨かれたその技術は熟練されたものであり、加えて今まで多くの職人を育て上げるなど後継者育成に貢献し、業界の発展に寄与されました。

問 商工課 商工労政班☎(24)5233

議会や市政のしくみを学習
平成26年度喜多方市子ども議会







平成26年度「喜多方市子ども議会」が10月6日、新しくなった本庁舎議場で開かれました。これは市内の小・中学校の児童・生徒に社会科学習の一つとして、議会や政治の仕組みを体験学習し、市の施策や郷土に強い関心を持ってもらおうと毎年開かれているものです。子ども議会には市内全小・中学校から各学校代表の24人が出席し、議長に安部伽音さん(第三中)、副議長に佐藤聖さん(駒形小)が選出され、代表12人の質問に市長、副市長をはじめ各部長が答弁しました。その主な内容を紹介します。

問 学校教育課 ☎(24)5314



副議長
佐藤　聖さん
(駒形小)



議　長
安部伽音さん
(第三中)

高齢化問題について



1番議員
板橋香凜さん
(第一小)

福祉やケアする人の充実など、高齢化問題への対応について教えてください。

(答弁)市では、敬老会や老人クラブでの活動、太極拳ゆったり体操などでお年寄りの生きがいづくりを行っています。また、お弁当の宅配や除雪支援、さらには特別養護老人ホームなどでのお世話や健康管理を通して生活の支援に取り組んでいます。

「なかよくたくましく生きる」のPRについて



2番議員
庄司名愛さん
(第二小)

「なかよくたくましく生きる」を広めるためにどんな取り組みをしているか教えてください。

(答弁)これは市の人づくりの指針でありめざす姿です。市の広報誌や缶バッジをつくってPRしたり、児童生徒の皆さんには、指針のパンフレットやクリアファイル、「先人からの贈りもの」という副読本をつくったりしています。保護者の皆さんには講演会などを通して喜多方市全体に広まるよう取り組んでいます。

商店の活性化について



3番議員
山崎晃弥さん
(松山小)

観光客誘致のためにも、大型ショッピングモールやいろいろ体験できる商店街を作る計画はありますか。

(答弁)お店の外観を蔵の町並みと調和させています。また、煎餅の手焼き体験や絵付け体験などの体験メニューや蔵座敷、酒蔵が見学できる店もあります。喜多方ならではの特徴と地域資源を生かして魅力ある商店街づくりを進めています。

農業で人口を増やす取組について



6番議員
今野一伸さん
(関柴小)

農業を広めるとともに、人口を増やし、活気ある町にする計画や対策はありますか。

(答弁)喜多方で農業を始めたい人に、住む家や農地、農業機械を借りたり研修したりする費用を市で応援しています。また就農サポーターや定住コンシェルジュという方々が支援しています。さらに、県の機関と連携したりすることで14名の方が喜多方市に来て農業を始めています。

子どもとメディアとのつきあい方について



8番議員
齋藤隆汰さん
（豊川小）

メディアセレクト週間の効果や成績との関係、市の対策について教えていただきたい。

（答弁）メディアセレクトを推進するため、小児科医の講演会を各地区で開催したことで、積極的なメディアセレクトができてきました。学力テストの結果では、一日４時間以上ゲームをする子は、しない子の半分しか点数がとれないことから、皆さんが正しく情報機器を活用できる力を身につけてほしいと願っています。

自然災害について



11番議員
渡部　光さん
（加納小）

広島のような土砂災害が起きた場合、どのように対処するのですか。

（答弁）直ちに情報収集し、市の担当が協力して応急対策を行います。警察や消防署などとも連携します。昨年７月の集中豪雨では、速やかに災害対策本部を設置し、避難勧告や避難指示を発令し、避難を誘導することで人的被害を未然に防ぐことができました。

市の食のＰＲについて



13番議員
山口　凛さん
（塩川小）

喜多方ラーメン、塩川モツ、山都そばを全て味わえる複合施設をつくってはどうでしょうか。

（答弁）食の最大イベント「冬まつり」では、ラーメンフェスタとそばまつりを開催しています。鳥もつは塩川地元伝承会が中心となってイベントなどに出店しています。それぞれの店舗が各地域に集中しているため、市全体が食のテーマパークとなっています。

地区公園の整備について



16番議員
正木玲奈さん
（山都小）

安全に遊んだりお年寄りと交流したりできる地区の公園を市で整備していただけますか。

（答弁）地区で作った公園は、地元行政区の皆さんが点検・修理をしています。市では、遊具を設置する経費を一部補助しています。市の公園は、その都度修理業者に依頼して修繕しています。地元行政区とよく相談しながら安全で安心して遊べるようにしていきたいと考えています。

マイマイガの大量発生について



18番議員
伊豆野達哉さん
（第一中）

マイマイガが大量に発生していますが、市では、害虫対策をどのようにしていますか。

（答弁）行政区やお店の人、市民一人一人の協力を得て、市全体で取り組むことが大切です。具体的には、卵の駆除です。また、ケムシが小さい春のうちに薬をかけて殺す方法が有効ですので、行政区への薬の提供を行いたいと考えています。

雪冷房について



19番議員
樋口　博さん
（第二中）

雪冷房計画の進捗状況と今後の計画、雪冷房をつくる費用とつくるための時間を教えてください。

（答弁）市では、農産物を低温で貯蔵する「雪室」を山都町と高郷町に持っています。現在、雪冷房だけでなく、太陽光発電、ペレットストーブなど、新エネルギーの活用計画を進めています。県が建設した５７３トンの雪を貯める雪冷房設備では、費用が８千３百万円、工事期間が約半年程度かかっています。

少子化について



21番議員
大竹　諒さん
（塩川中）

少子化を防ぐためにどのような子育て支援を行っていますか。

（答弁）産業を盛んにして企業を呼び働く場所を確保しています。子育て支援として、小さい子の健康診断や18歳までの医療費無料化、保育施設の充実保育料の助成、放課後児童クラブの開設などに取り組み、安心して子どもを産み育てることができる環境作りを進めています。

地域の活性化について



23番議員
増子雄哉さん
（高郷中）

地域活性化の方法について、どんなものがあるかお伺いします。

（答弁）市では雇用対策の充実、就業機会の創出、観光交流の充実、子どもを安心して産み育てる環境の整備や子育て支援、子ども、女性、若者を大切にする事業の強化、地域医療の充実や住民福祉の向上など、さまざまな取り組みを行っています。これからも喜多方に生まれ、住んでよかったと実感できる魅力あるまちづくりを進めてまいります。



第6回「非核平和のまち宣言」記念作文・習字コンクール表彰式を開催しました

表彰式を10月20日に開催しました。

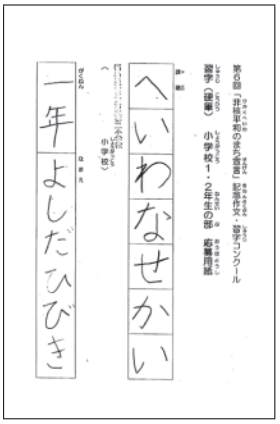
市内の小中学校から、習字の部786点、作文の部72点の応募があり、審査の結果、15名が表彰されました。

各部門の受賞結果および受賞作品は、次のとおりです。（敬称略）

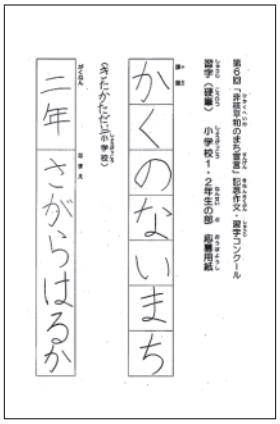
受賞作品は、市のホームページにも掲載しています。

問 企画政策課 政策推進班☎(24)5208

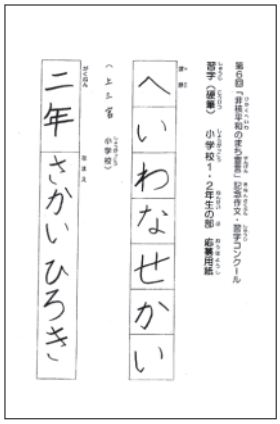
硬筆 1・2年生の部



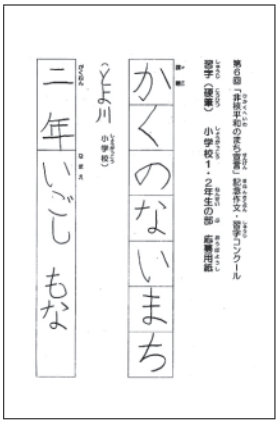
最優秀賞 吉田 響（第二小1年）



優秀賞 相良 春花（第二小2年）



優秀賞 酒井 大輝（上三宮小2年）



優秀賞 猪越 望菜（豊川小2年）

毛筆 3・4年生の部



最優秀賞 大塚 桃佳（上三宮小4年）



優秀賞 齋藤 心（第一小4年）



優秀賞 高橋 昂央（塩川小3年）



優秀賞 齋藤 水月花（山都小4年）

毛筆 5・6年生の部



最優秀賞 小田切 咲彩（第一小5年）



優秀賞 小荒井 萌（第一小5年）



優秀賞 山田 夏音（塩川小6年）



優秀賞 大竹 至誠（高郷小5年）

作文の部

最優秀賞

「平和のために」

山都中1年　大塚　菜生

みなさんは、佐々木禎子さんという少女を知っているだろうか。彼女は、広島の平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルとなった少女だ。

１９４５年８月６日。この日広島に、世界初の原子爆弾がおとされた。当時の広島は人口約42万人。そのうちの半数が、原爆による被害を受けており、死者・行方不明者は12万人以上にものぼる。私は、投爆直後の広島の様子を写真で見たが、その酷さは、私の想像をはるかに超えていた。こんなに残酷なことが、本当にこの日本で起きたことなのだと思うと、私はとても恐ろしくなった。原爆によって、こんなにもたくさんの命が失われてしまうのだ。

しかし、この地獄のような広島を、奇跡的に生きのびた少女がいた。その少女こそ、サダコさんである。サダコさんは、太平洋戦争のさなかに生まれ、わずか二才のときに被爆したが、奇跡的に無事だったのだ。しかしその10年後、サダコさんは白血病により、12才で亡くなった。「原爆の子の像」は、サダコさんの死後、同級生たちの募金によってたてられたのである。

サダコさんは、白血病になってから亡くなるまでの間、病院でツルを折り続けていた。折りヅルは千羽になったとき、願いが叶うといわれている。サダコさんは、一体どんな気持ちでツルを折っていたのだろう。12才で死と闘わなければならなかったのだ。どんなに怖かっただろうな、と私は思った。

今年で終戦から69年。私達は今、平和な日本に生きている。しかし、多くの人は、戦争があった時代を知らないので、今の便利で平和な日本をあたりまえのように思ってしまう。そのため、今もなお必死に平和を訴え続けている人たちの思いを、あまり実感できなくなっているのだ。私は、それではいけないと思う。戦争によって失われる命はたくさんあるけれど、戦争によって生まれるものは、悲しみや憎しみだけなのだということを、一人一人がきちんと知っておかなければならないのだ。

最近では、ちょっとした理由で人を殺したり、自分の子供に虐待をする親も増えてきている。それなのに、日本は本当に平和だといえるのだろうか。

本当に平和な世の中をつくるには、まず声を上げることが大切だと、私は思う。一人の声は小さいけれど、10人で声を上げれば10倍、１００人ならば１００倍の声になる。平和の尊さ、命の大切さを、たくさんの人が訴えていけば、きっと犯罪が減り、平和な世の中にしていけるはずだ。平和への祈りがつまった、サダコさんの折ヅルのように、私も、私の声をまわりに届けて、核兵器の無い世界や、命の尊さを訴えていきたい。

優秀賞

「平和への祈り」

会北中2年　菅井　日菜乃

あの日、ある子供は外で遊び、ある大人は仕事をする、そんないつもと変わらない、なにげない一日を過ごすはずでした。

１９４５年８月６日午前８時15分。広島に原子爆弾が投下されました。黒い雨が降りそそぐ広島は、なにもかも吹きとばす爆風とあらゆるものをなめつくす炎につつまれていました。

なぜ人間は核兵器というものをつくりだしてしまったのでしょうか。核兵器は一瞬にして何十万もの命を奪い、まちを破壊し、何十年の間も人々を苦しめ続ける、とても恐ろしいものです。日本に原子爆弾を落として、その怖さを知った今、核兵器という恐ろしいものは、この世界に必要ありません。核兵器などを使わなくても、やめられる争いはたくさんあるはずです。すぐに武器や核兵器にたよるのではなく、自分たちの主張は、自分たちの言葉で伝えるべきだと思います。

それは、戦争でも同じことです。第二次世界大戦での、15年にもわたる苦しい戦争の中、人々は何を思って生きていたのでしょうか。もし私だったら、生きているのがつらく、苦しくて、死んでしまったほうがいいと考えてしまうかもしれません。なぜ、勝手にやりたくない戦争をされて、家を奪われ、家族を奪われ、自分の命を守るためだけに必死に生きなければならないでしょうか。私たち人間には自由に生きて幸せになる権利があり、世界中の誰もが大切で尊い存在です。私は、そんな一つ一つ大切な命を、むやみに奪う戦争をしないためには「話し合い」を大切にしなければいけないと思います。国同士、または国の中でも問題はたくさんあると思います。たくさんの意見があって解決できないからといって、いちいち戦争を起こすのは間違っています。どちらの意見も合わないなら、お互いが納得できるような新しい意見を考える事が必要です。そしてその意見をもとに話し合えば、争わなくても解決できると思います。問題は争って解決するのではなく、お互いが話し合い、お互いが納得したうえで、解決したといえるのです。

沖縄にある平和資料館にかかげられている詩の一部にこんな言葉があります。

「戦争を起こすのは、たしかに人間です。しかし、それ以上に戦争を許さない努力ができるのも、私たち人間ではないでしょうか。」私たちは、戦争で犠牲になった人々の苦しみ、悲しみ、痛み、怒りを、

決して忘れてはいけません。その人々の思いを胸に、戦争と核兵器の恐ろしさを、世界に伝えていきましょう。そして、戦争を繰り返さないように、世界から核兵器をなくせるように、心から祈り、お互いに信頼し、協力し合いながら、平和への道をみんなで歩んでいきましょう。人々のあふれる笑顔を、夢と希望にみちた未来を、そして、生きる自由をとりもどしていくために。

「平和への願い」

塩川中1年　関本　愛花

「集団的自衛権」テレビで度々耳にします。正直、私はあまりニュースや新聞は見ないのですが、日本にとってとても重大な問題だという事を知り、自分なりに考えてみようと思いました。

新聞などを読んでいても、難しい言葉が並んでいて、最初は全く理解できませんでした。でも、少しずつ解釈していくうちに、私たち国民の未来に大きく影響を与えてしまうのではないかと思い、不安が募りました。

戦後の日本は、日本国憲法の下で平和国家として歩んできました。非核三原則を守り、「二度と戦争はしない」という強い意志により、国民の平和な生活も守られていました。それなのになぜ今また、戦争に近づく道を歩もうとしているのでしょうか。

今の時代は、世界の環境が大きく変化し、日本も平穏な生活が保障されなくなってきたかもしれません。だからと言って武器を使うという事はやはり納得できません。日本が少しでも、戦う意思を示せば、更に攻撃の対象になってしまい、戦いが拡大してしまうのではないかと心配になります。武力に対して武力で対抗するというのはとても怖い事です。

私は自分の日常生活に例えて考えてみました。仲の良い友人が別の相手と口論になり、次第にエスカレートして、武器を持って争いを始めました。私は仲良しの友人を応援するために、武器を持って一緒に戦いました。

この対応はやはり間違いです。私は、仲良しの友人だからこそ、冷静に落ち着かせ、話し合わせる方法を選びます。必要最小限の戦いよりも、必要最大限の話し合いをして解決するべきだと思います。

私達は決して戦争をする為に生まれてきたのではありません。世界中の誰もが、平和な暮らしを望んでいるはずです。そして、地球の本来の姿を守りながら、豊かな未来に命をつないでいく事が私たちの役目だと思います。

世界中では、今も戦争や紛争が行っています。日本は唯一核兵器を落とされた国であるからこそ、「戦争は絶対に反対」という強い意志を示し、世界中から戦争がなくなるように活動していかなければならないと思います。

人を殺せば、当たり前ですが殺人罪の罪になります。戦争ではなぜ人を殺しても罪にならないのでしょうか。人の命を奪う行為が許されるなんて、とても怖い事です。世界を取り巻く環境がどんなに変わっても、一人一人の命の重さは決して変わらないのです。

国のために命を捧げて戦った兵士や、武力攻撃によって命を奪われた人々など、戦争の犠牲になった全ての人々の為にも、戦争は二度と繰り返してはいけないと思います。そして、国民の一人一人が世界の環境に目を向け、本当の意味での「平和」とは何かをしっかりと考えていかなければならないのです。

2014三ノ倉高原ひまわり ポスター・フォトコンテスト表彰式

ポスターコンテストでは378点、フォトコンテストでは163点の作品が市内外から寄せられ、入賞作品が決まりました。

表彰式は10月31日、熱塩加納総合支所大会議室で行われポスターコンテスト最優秀賞の猪俣倫子さんらが表彰を受けました。

受賞者は次のとおりです。（敬称略）

ポスターコンテスト　高学年の部▽最優秀賞＝猪俣倫子（上三宮小6年）▽優秀賞＝遠藤美咲（加納小5年）、関本悠太郎（堂島小5年）低学年の部▽最優秀賞＝石井瀬里（塩川小3年）▽優秀賞＝鶴巻日和（第二小3年）、瓜生琉華（熱塩小3年）



フォトコンテスト▽最優秀賞＝斎藤竹男（福島市）▽優秀賞＝長谷部進（福島市）、安斎奈津美（福島市）▽入選＝矢部美保（須賀川市）、佐山勝信（会津若松市）、近藤仁（喜多方市）、菅野美緒（神奈川県横浜市）、冨士川忠志（福島市）

問 熱塩加納総合支所 産業課 ☎(36)2115

平成26年度 納税標語コンクール

406点の中から入選作品14点が決まりました

喜多方市納税貯蓄組合連合会（阿部裕会長）は、市民の皆さんに税を身近なものとして理解していただくとともに、自主納税の輪を地域や職場にさらに広げるため納税標語を募集し、406点の応募作品の中から入選作品14点を選びました。

11月11日には、ヨークベニマル喜多方店2階特設会場において表彰式が執り行われ、阿部会長より受賞者一人ひとりに賞状と記念品が手渡されました。



受賞者は次のとおりです。（敬称略）

一般の部

【優秀賞】

納税で 笑顔広がる 街作ろう
五十嵐 嘉代子（塗物町）

中学生の部

【優秀賞】

納税で 支える暮らし 笑顔の喜多方
佐藤 恵吾（喜一中1年）

納税で 創る未来と 地域の輪
小荒井 輝（喜二中3年）

税金を 納めてつかむ 明るい未来
伊藤 慧南（山都中3年）

【優良賞】

税金を 納めて創ろう 明るい未来
正木 智也（山都中3年）

【佳作】

納税と みんなで支える 長寿国
関本 帆花（喜二中3年）

小学生の部

【最優秀賞】

ぜいきんで ゆたかな ふくし社会
皆川 仁（喜一小3年）

しょうひぜい ぼくもりっぱな のうぜい者
折笠 七星（山都小3年）

【優秀賞】

きちんと納税 高齢社会 支えよう
都倉 拓夢（慶徳小6年）

消費税 豊かな将来 切り開く
金子 里莉華（塩川小6年）

【優良賞】

心がけてね みんなでなくす むだづかい
薄 奈々実（喜一小3年）

税おさめ ゆたかな国へ 第一歩
山本 実穂（喜一小4年）

【佳作】

考えよう みんなのお金の つかいみち
永井 翔吾（喜二小5年）

納税で 広がるぼくらの 明るい未来
田中 由季乃（駒形小4年）

問 税務課 税制収納班
☎(24)5219

全国大会入賞報告

第69回国民体育大会陸上競技で第2位入賞した渡部佳朗さん（喜多方桐桜高3年）、第32回全日本ジュニア新体操選手権大会で第2位入賞した田中啓介さん（第二中3年）が、それぞれ喜多方市役所を訪れ、山口市長に入賞を報告しました。



渡部佳朗さん
第69回国民体育大会
(長崎国体)陸上競技
少年男子A400M
障害第2位(51秒35)



田中啓介さん
第32回全日本ジュニア
新体操選手権大会
男子個人
総合第2位

渡部さん、田中さんともにこのほか各種大会で好成績を収めております。お二人の今後さらなる活躍に期待しましょう。

問 生涯学習課 スポーツ振興係
☎(24)5319

喜多方市の財政状況をお知らせします

9月末現在の一般会計収入率は44・6%、執行率は31・6%

市では、年2回、財政状況を市民の皆さんにお知らせしています。今回は、平成26年度一般会計および特別会計予算の執行状況(平成26年9月30日現在)についてお知らせします。

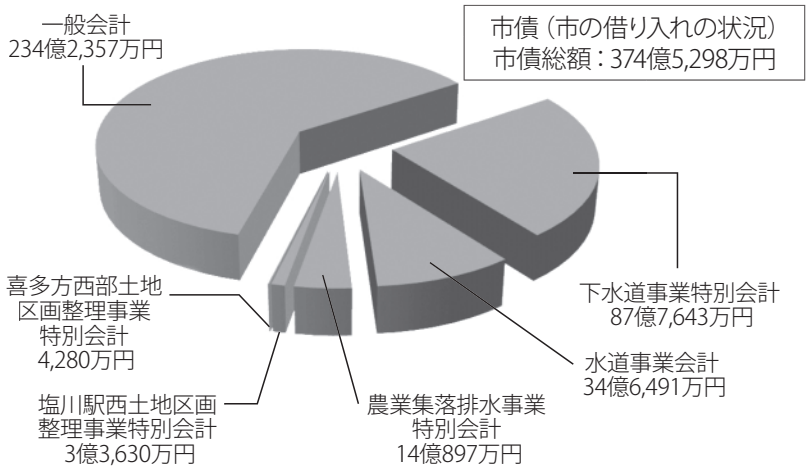
平成26年度一般会計予算の収入と支出の状況(繰越金を含む)は、9月末現在で予算総額276億20万8千円に対し、収入率が44・6%(収入122億9634万3千円)、執行率が31・6%(支出87億2744万2千円)となっています。

今後も行財政改革に積極的に取り組み、最少の経費で最大の効果を挙げるよう計画的、効率的な財政運営に努め、市の将来像である「豊かで元気な農山村と活力ある生活・観光都市」の実現に向けた諸施策を推進していきます。

問 財政課 財政班☎(24)5213

平成26年度各会計の執行状況(9月末現在)　単位:万円

会計区分		予算額	収入済額	収入率
			支出済額	執行率
一般会計		276億21	122億9,634	44.6%
			87億2,744	31.6%
特別会計	国民健康保険事業特別会計	65億2,888	20億8,892	32.0%
			24億1,724	37.0%
	後期高齢者医療事業特別会計	5億2,956	1億5,155	28.6%
			1億4,995	28.3%
	介護保険事業特別会計	49億1,434	21億1,689	43.1%
			19億4,682	39.6%
	公有林整備事業特別会計	433	14	3.2%
			19	4.3%
	喜多方西部土地区画整理事業特別会計	4,463	1	0.0%
			2,244	50.3%
	塩川駅西土地区画整理事業特別会計	8,865	37	0.4%
			4,349	49.1%
	農業集落排水事業特別会計	2億615	1,225	5.9%
			8,538	41.4%
	下水道事業特別会計	15億2,957	1億125	6.6%
			5億7,776	37.8%
	駒形財産区特別会計	891	1	0.1%
			5	0.5%
	一ノ木財産区特別会計	4,107	0	0.0%
			5	0.1%
	早稲谷財産区特別会計	2,025	0	0.0%
			5	0.2%



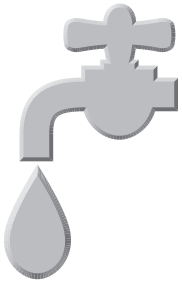
《財政状況公表に係る用語の意味》

一般会計
一般会計は、主に福祉・教育・土木・衛生などの地方公共団体が基本的な施策を行うための会計です。施策を行うための収入には、市町村税・地方交付税・国庫支出金等が充てられます。

特別会計
特別会計は、特定の収入をもって特定の施策を行うために設けられている会計です。一般会計が市町村税等を収入としているのに対して、介護保険料や国民健康保険料、下水道使用料等を収入としています。
会計は単一で経理をするのが理想的ですが、行政活動は広範で多岐にわたるため、特定の目的については、特別会計を設置することで施策や資金運用の状況を明確にしています。

繰越金
会計年度が終了し、次の年度へ持ち越した金額です。当該年度内に支出が終わらない見込みのあるものについて、例外的に翌年度に繰り越して使用することができるものです。

市債
建設事業等の財源を調達するために行う長期の借金です。市役所庁舎の建て替えや学校の耐震化、道路や上・下水道の整備などのため、政府資金や金融機関から借り入れています。施設は、何十年も使うもので、今、税金を納めている世代の人だけでなく、広い世代に分けて、少しずつ負担していくことが公平であると考えているため、長期にわたり返済します。



水道事業（公営企業）の業務状況をお知らせします

市水道事業では年2回、水道事業の経理状況を皆さんにお知らせしています。今回は、平成26年度水道事業会計の9月末現在の経理状況などについてお知らせします。

平成26年度水道事業会計予算の経理状況は、9月末現在で収益勘定において調定率が45・8％（調定額5億4968万円）、執行率21・3％（執行額2億4271万円）となっています。

水道事業の経営は、法律で独立採算制を基本にすることになっており、維持管理費、修繕費などの経費は、利用者の皆様からの水道料金によりまかなわれています。

水道事業においては、日常安定的に水道水を供給していくため、施設の維持管理および建設・改良などの事業を推進し、経費の節減と効率的な業務運営により、一層の経営健全化を図るとともに、安全・安心でおいしい水道水の供給に努めていきます。

平成26年度 経理状況（9月末現在）

◆収益的収入および支出（収益勘定）　単位：万円

	区分	予算額	調定額	調定率
収入	営業収益	10億6,625	5億2,927	49.6%
	営業外収益	5,192	2,041	39.3%
	特別利益	8,169	0	0.0%
	計	11億9,986	5億4,968	45.8%
	区分	予算額	執行額	執行率
支出	営業費用	10億2,490	1億9,431	19.0%
	営業外費用	1億358	3,981	38.4%
	特別損失	950	859	90.4%
	予備費	300	0	0.0%
	計	11億4,098	2億4,271	21.3%

◆資本的収入および支出（資本勘定）　単位：万円

	区分	予算額	調定額	調定率
収入	出資金	1億711	4,982	46.5%
	負担金	6,894	386	5.6%
	繰入金	0	0	-
	計	1億7,605	5,368	30.5%
	区分	予算額	執行額	執行率
支出	拡張工事費	1億5,000	2,912	19.4%
	建設改良費	6億411	4,775	7.9%
	企業債償還金	3億8,959	1億9,034	48.9%
	予備費	300	0	0.0%
	計	11億4,670	2億6,721	23.3%

上水道をご利用の皆様へ

冬期間は積雪により検針ができませんので、認定（推定）料金となります。期間は一部の地域を除き12月から翌年2月までで、積雪量により延長する地域もあります。12月からは認定（推定）料金でいただきますが、実際に使用された分との差額は、3月以降の検針結果に基づき精算しますので、ご理解とご協力をお願いします。

3月中旬からは、メーター付近の除雪にご協力ください。なお、冬期間の検針を希望される方は水道課までお申し出ください。この場合、検針日間近になりましたら除雪などを行っていただくことになります。

冬期間は水道管の凍結に注意しましょう

冬期間は、低温による凍結で水道管や蛇口の破損などが起こりやすいので、もう一度水抜栓の操作や電熱線の電源を確認してください。また、水道管凍結などの原因による漏水が発生しやすいので、漏水の早期発見のためにも、次の手順で確認してください。

①使用している蛇口を全部閉めます。
②メーターボックスの蓋を開けて水道メーターを確認します。
③水道メーターの回転指標（直径8mm位の銀色のもの）が回り続ける場合は、漏水が考えられます。

※入院などで長期間留守にする時は、凍結破損による漏水が原因で多額の水道料金となる場合がありますので、必ず水道中止の手続きをして下さい。水道中止の手続きの連絡は問にお願いします。

平成26年度事業中間報告

◆配水管の建設、改良工事「完了分」

①熊倉町萩平地内の配水管布設工事、消火栓設置工事を行いました。
②下町南部地内、豊川町荒分地内、岩月町大沢地内、塩川町江添地内において、老朽化している配水管の布設替えをしました。
③関柴町上高額地内、熱塩加納地内において、公共下水道工事に伴い支障となった配水管を布設替えしました。

問 水道課 業務班☎(22)1561
工務係☎(22)1556

未来を拓く喜多方人

生涯学習の広場

行ってみよう！ 見てみよう！ やってみよう！

「人づくりの指針」
講師派遣事業の取り組み紹介

今年度講師派遣事業を利用した公民館の取り組みを紹介します。

◆上三宮公民館（蓮沼門三氏）

○実施日…4月18日

わいわい塾を開催し、講師に修養団愛汗喜多方会員の小椋武さんを招き、わいわい塾の塾生を対象に、喜多方市の偉人について「蓮沼門三人と思想」と題して、DVDの映像をおりまぜながら講演会を行いました。



上三宮公民館「わいわい塾」の様子

○参加者の感想

喜多方を代表する偉人なので、学んだ偉業などを、多くの人に伝えていこうと思いました。

◆熱塩加納公民館（藤樹学）

○実施日…5月15日

高齢者学級　寿スクール開講式を開催し、講師に藤の樹会事務局長の沢井清英さんを招き、高齢者学級の寿スクール生を対象に、「藤樹学の教えとは」と題して、講演会を行いました。藤樹学がどのように伝わり、心の学問として広まったのか、また、本市で推奨している「喜多方市人づくりの指針」と関連付けながら学習しました。



熱塩加納公民館
「高齢者学級　寿スクール」の様子

○参加者の感想

業績・思想を理解し、日々の生活の目指す姿を再認識することができました。

◆姥堂地区公民館（蓮沼門三氏）

○実施日…6月23日

姥堂あやめ大学・むつみ学級～合同講話会～を、「蓮沼門三」生誕の地（山都町）で開催し、講師に修養団山都愛汗の会会長の佐藤喜久司さんを招き、蓮沼門三の功績について学習しました。



姥堂地区公民館
「姥堂あやめ大学・むつみ学級
～合同講話会～」の様子

○参加者の感想

蓮沼門三の生誕から少年時代、青年時代の苦労話など、「愛なき人生は暗黒なり　汗なき社会は堕落なり」の愛汗精神を学び感銘しました。

◆講師派遣事業をご利用ください。

「人づくりの指針」は、喜多方市生まれの「瓜生岩子刀自」、「蓮沼門三氏」などの先人や、「藤樹学」の教えをもとに策定されたものです。

偉人の業績や「人づくりの指針」の内容を、わかりやすく解説する講師を派遣する事業ですので、みなさんが所属する各種団体で利用してみてはいかがでしょうか。

問申 生涯学習課 生涯学習係
☎(24)5318

市民総ぐるみあいさつ運動

市青少年育成市民会議では、あいさつを通した交流により地域との結びつきを強め、子どもたちが健やかに成長していけるように「市民総ぐるみあいさつ運動」を行っています。

今年は9月24日から10月24日の実施期間内に、各地区会議や青少年健全育成関係団体を中心に市内幼稚園、小・中学校、高等学校前において、あいさつを啓発する活動が行われました。



あいさつ運動の様子

問 生涯学習課 生涯学習係 ☎(24)5318

第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)喜多方市チーム結果報告

11月16日(日)に行われた第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会で、本市チームは参加53チーム中総合第9位(5時間16分10秒)と健闘しました。

選手、スタッフの皆さん大変お疲れ様でした。

大会の詳細な結果などは平成27年1月号に掲載します。

第1回市町村対抗福島県ソフトボール大会喜多方市チーム結果報告および応援の御礼

10月18日(土)より行われた大会では、本市チームは三回戦でいわき市と対戦し、0対1で敗れたもののベスト16の成績を残しました。

1回戦(福島市)、2回戦(檜枝岐村)で勝利し勢いをつけましたが、今大会の優勝チームであるいわき市との息詰まる投手戦の末、今一歩およびませんでした。

市民の皆さんの温かい応援に対し、厚く御礼申し上げます。

◆試合結果

○1回戦　福島市　3対2
○2回戦　檜枝岐村　17対2
○3回戦　いわき市　0対1

問 生涯学習課 スポーツ振興係 ☎(24)5319



1回戦で逆転打を放つ大竹敏登選手

この度は、多くの市民の皆様方、また、関係者の皆様に応援を頂き心から感謝致します。試合では、初戦で優勝候補の福島市に勝利し、勢いに乗り3回戦まで進出し今回優勝のいわき市と対戦しましたが、あと一本が出ず敗戦となりました。しかし、次回大会につながる結果であったと思います。選手全員の底力と明るさに感謝致します。

喜多方市チーム監督　児島

標語コンクール入賞者　表彰

喜多方第二地区会議では青少年健全育成推進のため、小中学生を対象とした標語コンクールを実施し、多数の応募の中から審査を行い、次の入賞作品が決定されました。

標語は広く皆様に親しんでもらうため、大賞作品を看板にして、第一小学校、第二中学校の校門前に掲示します。

○喜多方第二地区会議　　テーマ「あいさつ運動」

※優秀賞・入選は氏名のみ掲載。

［第一小学校］(敬称略)

【大　賞】田中 涼介(6年)

「あいさつは　ともだち作る　第一歩」

【優秀賞】小林 微夏、五十嵐 輝人

【入　選】宮内 詠吉、永井 悠斗、佐藤 悠未、板橋 香凜、村澤 琳

［第二中学校］(敬称略)

【大　賞】夏井 麻衣(2年)

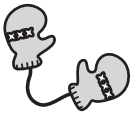
「小さな勇気であいさつすれば　大きな笑顔の　花が咲く」

【優秀賞】真壁 拓海、三原 菜々

【入　選】林 亜樹弥、芥川 穂那実、髙島 しおり、穴澤 令望、庄司 瑠夏

健康だより

予防が大切！インフルエンザ



一段と冷え込みが厳しくなり、肌で寒さを感じる季節となりました。これからの時期は、インフルエンザやその他の病気にもかかりやすい時期です。

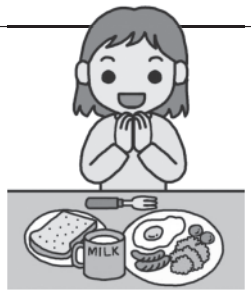
ウイルスを体内に入れず、発症させないことが大切です。インフルエンザの予防方法など、今シーズンも改めて確認してみましょう。

予防方法は？

予防方法をいくつか紹介します。

バランスの良い食事

魚・野菜・果物などを積極的にとるように心がけます。



石けんで手洗い

爪や指の間、手首まで石けんを使ってしっかり洗います。流水でよく洗い流してください。





人ごみを避ける

流行時には、人混みや繁華街への不要不急な外出は控えましょう。また、くしゃみや咳が出る場合はマスクを着用してください。



乾燥に注意

室内湿度は加湿器などを使用して、50～60％程度に保ちましょう。





体を冷やさない

半身浴や湯たんぽ、腹巻もおすすめです。

予防接種を受ける

インフルエンザ予防接種は、受ければ絶対に感染しないものではなく、重症化を防ぐ効果を期待しているものです。

市では、高齢者、中学生以下の子供および妊婦で、接種を希望する方への助成をしています。詳細は喜多方市のホームページまたは広報きたかた11月号をご覧ください。

大人の「風しん抗体検査」も助成しています。

先天性風しん症候群の予防のため、風しん抗体検査と検査結果で抗体価が推奨基準にある場合の予防接種について各々自己負担額1,000円を差し引いた額を公費助成します。

★対象者　市内に住民票があり、妊娠を予定または希望している女性とその夫、妊婦の夫（いずれもパートナー可）

※予防接種の助成対象になる抗体価基準　HI法で抗体価が32倍未満またはEIA法でEIA価8.0未満または国際単位301U/ml未満の場合、任意予防接種についても助成します。

★助成実施期間　平成26年4月1日～平成27年3月31日（手続きは4月3日まで）

★詳細は市のホームページまたは広報7月号をご覧ください。

問 申 保健課健康班（市保健センター）☎(24)5223または各総合支所住民課

喜多方市で地域の育児支援を委託している

「子育て支援センター」での取組みを紹介します！

東町のびやか保育園子育て支援センター「にじ」は、保育園に併設されており、お子さんと育児に関わる皆さんの出会いとふれあいの場所として、多くの方にご利用いただいています。

衛生管理として利用される方には、入室前に次亜塩素酸水を手にスプレーしていただき、手指の消毒をお願いしています。

室内では、掃除はもとより、遊具の消毒、ドアノブや取っ手などの消毒、窓を開けての空気の入れ替えを行っています。さらに、これからの時期は室内の空気が乾燥してくるため、加湿器を使用して湿度の管理を行い、施設内の環境を整えています。

また、月に一度、0歳児から就学前までのお子さんを対象にした身体測定を行うと同時に、看護師による子どもの健康についての講話も実施しています。12月は「インフルエンザの予防について」の講話を行う予定です。

子育て支援センター「にじ」では、この他にも、「育児相談会」や「おやつ作り」など、いろいろな活動を計画しています。マタニティの方の利用もOKです。月曜日から金曜日までの平日午前9時から午後2時まで、お子さんと一緒にどうぞご利用ください。

問 子育て支援センター「にじ」
☎(21)1303



栄養士の 知って役立つ 健康レシピ

今月のメニュー

＊＊白菜とベーコンのミルクスープ＊＊



ポイント
白菜の代わりにカリフラワー、キャベツなども相性がよくビタミンCも豊富です。

《かぜを予防する》

かぜを予防するには、やはり免疫力アップさせるのが1番！それにはやはり、毎日の食事から良質な栄養を摂ることが大切です。免疫機能をアップさせる食品は「たんぱく質」「ビタミン」「ミネラル」である。

特に粘膜強化のビタミンA、代謝機能を高めるビタミンB、抗酸化作用のあるビタミンCは食べるかぜ薬です。

【材料(4人分)】
白菜　4枚、ベーコン　2枚、ブロッコリー　80g、水　2カップ、牛乳　2カップ、コンソメ　1個、粉チーズ　大さじ2、塩/こしょう　各適量

【作り方】
①白菜はざく切り、ベーコンは1㎝幅に切る。ブロッコリーはかために茹でておく。
②鍋に水を入れ温め、白菜、ベーコン、ブロッコリーを入れてコンソメを加える。
③野菜に火が通ったら牛乳を加える。温まったら粉チーズを入れ、塩こしょうで味を整える。
☆お好みで黒こしょうをかけてもおいしい!